

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひろば		
○保護者評価実施期間	R7年 12月 1日		R7年 12月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	6
○従業者評価実施期間	R7年 12月 8日		R7年 12月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 12月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	看護師やPT及びOTの配置による専門的な身体ケア及び医療的ケアが安全に実施できること。	ケア内容を共有し、何か変化や変更があればすぐに職員間で共有し、認識の統一を図っている。	保護者との連携もしっかりと行いながら、職員のスキルアップのための研修会への参加や、内容の共有を実施していく。
2	少人数のため、職員の目が届きやすく、職員間でのコミュニケーションも良好に図れており、子どもたちの様子や状況、課題分析が密に行える。	職員間でのコミュニケーションを密に行い、日常のこまかな内容も共有するようにしている。	引き続き、コミュニケーションを密にとりながら、必要に応じて連絡ノートも活用していく。
3	ヒヤリハット事例を共有し、安全管理に努めている。	事業所だけでなく、法人内でウェブシステムを利用した報告書システムを活用している為、多くの事例を疑似体験することができる。	今後もささいな内容でも共有する事で安全管理及び再発防止に努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や保護者会等の開催が実施出来ていない。	ニーズの把握が行えていないことに加え感染対策等含め、方法を模索している。	保護者等からのニーズも伺いながら検討していきたい。場所の確保や人員の問題等、検討事項が多い。
2	建物の2階にフロアがあるので、有事の際避難が困難、時間を要す。	建物の構造やスペースの問題で現状2階での実施となっている。車椅子利用の児童も多くなっており、移動方法に検討が必要。	法人内及び地域の協力も得ながら人員の確保や場所の変更等も検討が必要。
3	特性上、支援プログラムが固定化しやすい。	重症心身障がい児が対象のため、ケア内容が固定されていたり、ルーティン化が必要な児童も多い。みんなで楽しめる内容のアイデアが乏しい。	散歩等、季節を感じられる行事の検討が必要。